

東京国立 博物館 ニュース

特別展 Information

- 「縄文—1万年の美の鼓動」
- 「マルセル・デュシャンと日本美術」
- 「京都 大報恩寺 快慶・定慶のみほとけ」…… 2
- 「博物館でアジアの旅」…… 4~5

平成館考古展示室で縄文の美にズームイン！
親と子のギャラリー

「トーハク×びじゅチューン! なりきり日本美術館」…… 6

総合文化展 Pick up !

(本館/東洋館/黒田記念館/平成館/法隆寺宝物館) …… 7~11

保存と修理情報④ …… 9

みどりのライオン(教育普及事業) …… 12~13 / トーハクくんのなるほトーハク …… 13

イベント&インフォメーション …… 14~15 / 2018年8-9月の展示・催し物 …… 16



「雲龍堆朱合子」

今号の名品



3ページに
掲載してるほ!

特別展 Information

特別展 「縄文—1万年の美の鼓動」 縄文の国宝6件、初めて勢ぞろい!

7月3日(火)
▼
9月2日(日)
平成館
特別展示室

美術工芸品として900件近くある日本の国宝のなかで、縄文時代の出土品はたったの6件。しかも初めて国宝に指定されたのが平成7年(1995)と歴史が浅く、近年になって縄文時代への社会的、文化的な関心や評価が高まってきたことを示しています。本展では縄文の美の極みともいえる、これらの国宝6件すべてが初めて勢ぞろいします(うち2件は7月31日(火)から展示)。

縄文時代初の国宝は「土偶 縄文のビーナス」。妊婦を表したその造形は、豊穡や子孫繁栄を願う縄文人の祈りを体現したものです。柔らかな曲線を連ねたような優美な姿は当時の女性の理想像でもあったのでしょうか。一方、本展の顔役を担うのが火焰型土器。一般には、「縄文土器といえば火焰型土器」とさえ思わせるほどに強烈な存在感を放っています。燃え上がる焔を思わせる口縁部の大小の突起の連なりや、胴部を這うように巡らされる渦巻文が見どころです。

特別展期間中、トーハウには「縄文の美」があふれています。ぜひこの機会にお出かけください。(品川欣也)



●土偶 縄文のビーナス
長野県茅野市 棚畑遺跡出土
縄文時代(中期)・前3000～前2000年
長野・茅野市蔵
(茅野市尖石縄文考古館保管)
展示期間:7月31日(火)～9月2日(日)
粘土に混ぜた雲母粒と丁寧な磨きできらきらと光る様子も優美です



●火焰型土器
新潟県十日町市 笹山遺跡出土
縄文時代(中期)・前3000～前2000年
新潟・十日町市蔵(十日町市博物館保管)
写真:小川志博
力強い立体的な装飾の陰に隠れた器形の美しさも魅力です

観覧料:一般1,600円(1,300円)、大学生1,200円(900円)、高校生900円(600円) * ()内は20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) / お問合せ:03-5777-8600(ハローダイヤル) / 展覧会公式サイトhttp://jomon-kodo.jp/

特別展 「京都 大報恩寺 快慶・定慶のみほとけ」 秘仏本尊、トーハウで 寺外初公開!

10月2日(火)
▼
12月9日(日)
平成館
特別展示室
3室・4室

大報恩寺の本堂のご本尊は、秘仏の釈迦如来坐像です。作者は行快。ご存知ない方も多くかもしれませんが、鎌倉時代の名匠快慶が信頼を寄せた一番弟子です。昨年、国宝に指定された大阪・金剛寺の不動明王坐像は修理中に像内から墨書が見つかり、行快作であることがわかりました。この他にも、近年、続々と行快作の仏像が見つかっており、要注目のお仏師であることは間違いありません。行快代表作の本像、初の寺外公開にご期待ください。(皿井舞)



◎釈迦如来坐像
行快作 鎌倉時代・13世紀
京都・大報恩寺蔵
切れ長の目が凛々しさを感じさせる、イケメン仏です

関連イベント
記念講演会①
「千本釈迦堂・大報恩寺の歴史」
日時:10月12日(金)13:30～15:00(13:00開場)
講師:菊入諒如(千本釈迦堂 大報恩寺住職)
記念講演会②
「大報恩寺のみほとけ 運慶次世代の仏師と京都」
日時:11月18日(日) 13:30～15:00(13:00開場)
講師:皿井舞(絵画・彫刻室主任研究員)
会場:平成館大講堂 定員:380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
聴講料:無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。半券でも可)
申込方法:往復はがきの「往信用表面」に、(1)希望する講演会の番号(①②いずれか)、(2)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな、(3)代表者の郵便番号・住所、(4)代表者の電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。
申込先:〒150-8551 東京都渋谷区渋谷1-3-9 ヒューリック渋谷1丁目ビル3F
ユース・プランニングセンター内「快慶・定慶展」
記念講演会(①②いずれか)係
申込締切:①9月4日(火)必着 ②10月9日(火)必着

観覧料:一般1,400円(1,200円)、大学生1,000円(800円)、高校生800円(600円) * ()内は前売・20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) *前売券は8月24日(金)から10月1日(月)まで、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式サイト、各種プレイガイドにて販売/お問合せ:03-5777-8600(ハローダイヤル) / 展覧会公式サイトhttps://artexhibition.jp/kaikai-jokei2018/

東京国立博物館・フィラデルフィア美術館交流企画特別展 「マルセル・デュシャン と日本美術」 ありふれたものに価値を見出す

10月2日(火)
▼
12月9日(日)
平成館
特別展示室
1室・2室

「自転車の車輪」は、最初のレディメイド作品として知られ、デュシャンがなんとなく車輪を回して眺めているときに、思いついたといえます。作者が精魂込めて作り上げた1点限りの「芸術作品」とは異なる「レディメイド」は美術界を揺るがせ、目に映る美しさや技巧の素晴らしさだけにとらわれない価値観を新しく生み出しました。一方、日本の黒楽茶碗は、薄暗い茶室ではほとんど見えない黒い器です。目に映るかたちの美よりも、そのものがもつ美意識や価値観を愛でるものともいえるでしょう。このようにデュシャンの作品と日本の造形とは、共通点を見出すことができるかも知れません。(松嶋雅人)



自転車の車輪 マルセル・デュシャン
1964年(1913年のオリジナルの複製)
フィラデルフィア美術館蔵
デュシャンは、車輪が回転しているのを見て和やかな気分になるとのこと



黒楽茶碗 銘むかし咄
長次郎
安土桃山時代・16世紀
ほのかな湯の温かみを目ではなく「てのひら」に感じる黒の器

右: Philadelphia Museum of Art: Gift of the Galleria Schwarz d'Arte, Milan, 1964 © Association Marcel Duchamp / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2018 G1413

関連イベント
① 記念講演会「デュシャンの本質」
日時:10月6日(土)13:30～15:00(13:00開場)
講師:マシュー・アフロン(フィラデルフィア美術館学芸員) ※同時通訳付(講演は英語で行われます)
② トークショー「デュシャンの向こうに日本が見える」
日時:10月16日(火)14:00～15:00(13:30開場) 講師:山田五郎(評論家)×松嶋雅人(当館研究員)
会場:平成館大講堂 定員:380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
聴講料:無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。半券でも可)
申込方法:往復はがきの「往信用表面」に、(1)希望する講演会の番号(①②いずれか)、(2)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな、(3)代表者の郵便番号・住所、(4)代表者の電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。
申込先:〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館教育講座室 デュシャン展イベント(①②いずれか)係
申込締切:①9月3日(月)必着 ②9月10日(月)必着

観覧料:一般1,200円(1,000円/900円)、大学生900円(700円/600円)、高校生700円(500円/400円) * ()内は前売・20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) *前売券は8月24日(金)から10月1日(月)まで、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式サイト、各種プレイガイドにて販売/お問合せ:03-5777-8600(ハローダイヤル) / 展覧会公式サイトhttp://www.duchamp2018.jp/

「マルセル・デュシャンと日本美術」と「京都 大報恩寺 快慶・定慶のみほとけ」の2展セット券(一般2,000円、前売一般1,800円)を、8月10日(金)から販売

今号の名品

2018年8-9月号

うんりゅうついでしゅごうす
雲龍堆朱合子

6月5日(火)～9月2日(日) 東洋館9室

五爪の龍は皇帝の証、明時代の格高き逸品



先日、当館の隣にある上野動物園では、パンダの赤ちゃんのシャンシャンが1歳の誕生日を迎えたことがニュースになりました。シャンシャンが生まれてから、その成長にはあたたかい関心が寄せられています。今日では、中国を代表する動物はパンダになっていますが、かつては龍が中国を代表していたのです。

ここに紹介する作品は、龍の図様を表した漆器です。朱漆を幾層にも

雲龍堆朱合子
「大明宣徳年製」銘
中国 明時代・宣徳年間(1426～35)

塗り重ねて、蓋表に龍のすがたを彫り表した円形の容器です。裏面には「大明宣徳年製」という銘があり、明時代の宣徳年間(1426～35)に作られたことが知られます。本作品のような暗い色調の朱漆は宣徳年間の漆器の特徴です。龍の周囲には雲気が立ち込めており、合子の側面にまで及んでいます。龍は身体を振らせて、両手両足の指を広げて、火焰宝珠を握り握りとしています。

龍は、古代中国において蛇をもとに創造された空想獣と考えられますが、漢時代には龍の九似といつて、身体各部について、頭は駱駝、目は兔、角は鹿、耳は牛、首は蛇、鱗は魚、腹は蟹(中国の空想獣)、手は虎、爪は鷹に似ているという九つの特徴が示されました。注目すべきは爪の数です。鷹は4本爪なので、龍も4本爪だったのですが、宋時代から元時代にかけて、皇帝の権力が高まってくると、皇帝が用いる龍の図様は5本爪と定まりました。これが五爪の龍です。そして五爪龍が表さ

に創造された空想獣と考えられますが、漢時代には龍の九似といつて、身体各部について、頭は駱駝、目は兔、角は鹿、耳は牛、首は蛇、鱗は魚、腹は蟹(中国の空想獣)、手は虎、爪は鷹に似ているという九つの特徴が示されました。注目すべきは爪の数です。鷹は4本爪なので、龍も4本爪だったのですが、宋時代から元時代にかけて、皇帝の権力が高まってくると、皇帝が用いる龍の図様は5本爪と定まりました。これが五爪の龍です。そして五爪龍が表さ

「東京国立博物館ニュース」
名品スタンプ

- ★設置場所: 東洋館インフォメーション
- ★設置期間: 8月1日(水)～9月30日(日)
- *記念品付きの「名品スタンプラリー」は終了しました。



れた器物が下賜されたり、宮廷から出てゆくような場合には、その指を1本欠いたりしました。ここで紹介した堆朱合子に表された龍は5本指を広げています。すると、この堆朱合子も北京の紫禁城(現在の故宮博物院)のどこかで皇帝の身辺に置かれていた情景が想像されます。

このように龍は皇帝の権威を象徴する架空動物であったために、かえって文化大革命の時期には十二支から外されて、代わりにパンダを入れようとする珍事もあったようです。その真相はよく分からないものの、十二支の龍はそのまま残りましたが、中国代表の地位はパンダに譲られたのです。

(猪熊兼樹)



「大明宣徳年製」銘

ジャランジャラン 海の道



9月4日(火)

9月30日(日)

ジャランジャランは「散歩」という意味なのよ!

秋恒例の「博物館でアジアの旅」、今年のテーマはインドネシアです。インドネシアは、赤道にまたがる1万以上の島々からなります。古来、人と物の盛んな往来があり、インドや中国など各地に起源をもつ文化と土着の文化とが融合して、活力に満ちた独自の文化を育んできました。東洋館12・13室では各地との活発な交流によって栄えた様々な作品をご紹介します。そのほか、おすすめの商品もいろいろ。ぜひ東洋館をジャランジャラン(散歩)してください。

東洋館 12室

日本へつながる交易地 インドネシアに注目!

おかのしげあす
特集「岡野繁蔵コレクション
 ーインドネシア由来の染織と陶磁器」

大正のはじめにインドネシアのスマトラ島へ渡り、実業家として活躍した岡野繁蔵(1894~1975)コレクションの染織と陶磁器を紹介します。



👛 **カイン・バンジャン(腰衣)**
 しろじからくさはなきんじゅうもんよう
白地唐草花禽獸文様
パティック

インドネシア、ジャワ島北岸・ブカロガン 20世紀前半
 赤と青を基調とした華やかな色使いで、様々な海と陸の生き物をデザイン。腰に巻いてスカートにすれば、楽しい気分になりそう



👛 **白磁鳳首瓶**

中国 北宋時代・11世紀
 中国南部の広東地方で焼かれ、東南アジアへもたらされた白磁。鋭くはっきりと刻まれた鳳凰の顔が印象的です

よしみち

東洋館 5室

焼き物つながりでよしみち!

中国がインドネシアに輸出した焼き物

👛 **五彩牡丹鳳凰文大皿**
 ごさいぼたんほうおうもんおおさら
 中国・漳州窯 明時代・17世紀
 横河民輔氏寄贈



地域による人形ちがいに注目!

「ワヤンーインドネシア 形芝居一」

インドネシアの人形芝居は、影絵を用いるワヤン・クリ、木彫り人形を用いるワヤン・ゴレがあり、それぞれ異なる魅力を持集では、様々なキャラクターが登場し、地域による人形のちがいを紹介します。

ワヤン・ゴレ ウマルモヨ

インドネシア、中部ジャワ 20世紀
 氏寄贈

イスラム教に基づく「アミル・ムハムマド」に登場する人形。劇中で活躍する将軍です

本館4室も
ジャランジャラン

おもに東南アジアからもたらされ、日本で茶器に転用された珍しい道具を紹介します。→7ページ



東洋館 12室

どこの地域の彫像がお好み?

「東南アジアの金銅像」

独自の美術様式が花開いたインドシナ半島やインドネシアの金銅像を中心に展示します。

👛 **大日如来坐像**
 だいにとにょらいきそう
 インドネシア 10世紀頃

宇宙の源とされる大日如来。台座の背もたれにはインド風の装飾を凝らし、高貴な人の頭上にさしかける天蓋まで残ります



よしみち

東洋館 3室

彫刻つながりでよしみち!

背もたれ、肉感的な美しさに注目

👛 **釈迦如来坐像**
 しゃかにょらいきそう
 インド パーラ朝・9世紀



関連イベント

※すべて参加無料(ただし、9月17日(月・祝)を除き当日の入館料が必要)、特記以外は事前申込不要です。

スペシャルツアー 「インドネシアを巡る旅 —添乗員はトーハク研究員—」

各日3人の研究員が「インドネシア」をキーワードに約20分間ずつ、計70分間の東洋館の旅へご案内します。

■9月11日(火) 14:00~15:10

「インドネシアと南海の民族文化を楽しむ旅」

三笠景子(東洋陶磁史)
猪熊兼樹(工芸史)
市元壘(東洋考古)

■9月19日(水) 14:00~15:10

「インドネシアと南海の美術工芸を楽しむ旅」

今井敦(東洋陶磁史)…本館4室で行います。
小山弓弦葉(日本東洋染織史)
西木政統(彫刻史)



2016年の様子

集合場所: 各日東洋館1階
エントランス
※展示室をめぐるツアーです。
歩きやすい靴でご参加ください。

月例講演会

「世界無形文化遺産 バティックの世界を訪ねる」

■9月22日(土) 13:30~15:00

講師: 小山弓弦葉(日本東洋染織史)
会場: 平成館大講堂(開場は30分前)
定員: 380名

インドネシアの伝統芸能

「ジャワの影絵芝居ワヤン・クリ」

ユネスコの世界無形文化遺産に登録されたインドネシアの影絵芝居、ワヤン・クリを上演します。

■9月12日(水)

① 13:00~13:40 ② 15:00~15:40

■9月14日(金)

③ 11:00~11:40 ④ 13:00~13:40

出演: スミール

会場: 表慶館(開場は各回30分前)

定員: 各回130名(先着順)

ワークショップ「バティックに挑戦」

事前申込制

インドネシアのロウケツ染、バティック。コットンのバンダナに、スタンプなどを使って、すてきな文様をつくり出してみませんか?

■9月29日(土)

① 10:00~12:30 ② 14:00~16:30

■9月30日(日)

③ 10:00~12:30 ④ 14:00~16:30

詳細→12ページをご覧ください。

気軽に椅子ヨガ in 東洋館

東洋館で仏像に囲まれながら、椅子に座ってできるヨガを体験してみませんか?

■9月28日(金)

14:00~、14:30~、

15:00~、15:30~

※各回15分程度

講師: 渡辺美保

会場: 東洋館1室(受付は各回10分前)

定員: 各回20名(先着順)



ボランティアによる東洋館関連ガイドツアー

東洋館のハイライト、彫刻、たてものガイドなどを「博物館でアジアの旅」特別バージョンで実施します。詳細は本誌カレンダー(→16ページ)をご覧ください。

アジアン屋台

アジア料理を中心にしたケータリングカーが東洋館前に登場します。

東洋館
13室

アジアンミックスな 文様の染と織



「インドネシアの染織」

12室の特集「岡野繁蔵コレクション」にあわせて、スマトラに渡り実業家となった岡野繁蔵旧蔵のインドネシア染織を展示します。

👜 **サロン(腰衣)**
あゐしちようからくさもんよう
藍地蝶花鳥唐草文様
いんぎん
印金バティック

インドネシア、スマトラ島、ジャンビ
20世紀初頭

ロウケツ染で表した鳳凰や花唐草の文様は中国風です。スマトラ島を行き交った中国人がもたらした文様でしょう

東洋館
12室

地球の

特集の人形

インドネシアの人形は、その人形そのものが、その土地の文化を表現しています。その中でも、特に目を引くのが、その独特の顔立ちと、その衣装の豪華さです。



👜 **ワヤン**
インドネシア
田枝蒙
イスラーム

よりみち

東洋館
5室

文様つながりでよりみち!
美しい花と唐草に注目!

👜 **赤地花唐草唐子文様紹繙裂**
あかじはなからくさからこもんようろしゅうぎれ
中国 明時代・14~15世紀



ワヤン、バティックやクリスはユネスコの世界無形文化遺産に登録されているのよ!



ほほー。すごいほ!

よりみち

東洋館
3室

お髭つながりでよりみち!
イスラーム陶器を代表する技法のひとつ、ミーナーイー陶器

👜 **色絵人物文鉢**
いろえじんぶつもんはち
イラン出土
イスラーム時代・12~13世紀



東洋館
13室

武器の造形に込められた意味に迫る

「クリス—神秘なるインドネシアの武器—」

神秘的な霊力が宿すとされるクリスと槍をジャワ島、スラウェシ島など異なる地域ごとに展示します。

👜 **クリス**

インドネシア、ジャワ島東部 17~18世紀 J.C. ベイレフェルト氏寄贈
酸で腐食させて独特の刃文を表す蛇行剣。現代でも男性が正装するとき腰帯に挿します



よりみち

東洋館
10室

クリスつながりでよりみち!
クリス形銅剣といわれていたこともある

👜 **銅戈**

伝朝鮮平壤貞柏里出土
初期鉄器時代~楽浪・前3~前1世紀 小倉コレクション保存会寄贈



東洋館
12室

様々な形の銅鼓 見比べてみよう

「インド・東南アジアの考古」

銅鼓はまつりの中核をなす楽器。東南アジアや中国南部の銅鼓を展示します。

👜 **銅鼓**

インドネシア東部出土
初期金属器時代・6~12世紀
銅鼓の文化は海をわたり島から島へ。そしてアロール島へと伝わって、モコと呼ばれる細身のドラムになりました

よりみち

東洋館
5室

楽器つながりでよりみち!

👜 **罎子**
罎子は吊り下げて側面を叩く楽器

👜 **罎子**

中国 戦国時代・前5~前3世紀 横河民輔氏寄贈



平成館
考古展示室で

縄文の美にズームイン!

縄文土器や土偶など、ズームインしてみると鑑賞ポイントが見えてきます。開催中の特別展「縄文」(→2ページ)を一層お楽しみいただくために、考古展示室で「縄文の美」にズームイン!

だって女の子
だもん♡

髪の毛をばっちり盛っています

大きな耳飾をつけているオシャレさん

みみずく土偶

茨城県利根町 立木貝塚出土
縄文時代(後期)・前2000～前1000年 個人蔵
土偶とは女性をかたどった祈りの道具。顔の表現が鳥のみみずくに似ていることから、みみずく土偶と呼ばれています。



ズームイン!

赤い顔料発見! かつては、頭から足先まで全身が真っ赤に塗られていました。

縄文中期の
トレンドはヘビ!

フォルムも大事。アンバランスな上下とくびれた胸部はこの土器の特徴です

◎深鉢形土器

ふかばちがたどき
東京都国分寺市 多喜窪遺跡第1号住居跡出土 縄文時代(中期)・前3000～前2000年 東京・武蔵国分寺蔵
大きな突起が四方に付き、装飾に満ち溢れていますが、煮炊きの道具として実際に使われていました。



ズームイン!

ヘビの頭。縄文時代にはしばしば土器にヘビが表されました。(縄文時代中期だけ!)



縄文時代から
釣針は釣針

このサイズの釣針は、現代だと大型の外洋魚を釣るために用いられます

つりばり釣針

青森県つがる市木造亀ヶ岡出土
縄文時代(晩期)・前1000～前400年 徳川頼貞氏寄贈
縄文時代の生業の一つに漁撈があります。この釣針は鹿の角をうまく加工して作られました。



約7.5cm

ちゃんと、かえしも付いています!

ズームイン!

釣糸を巻きつけるための溝。釣針の形は既に縄文時代に完成していました

細部は意外にリアル!

◎土面

青森県つがる市木造亀ヶ岡出土
縄文時代(晩期)・前1000～前400年
大きさは10cm程度。顔を覆うには足りないので、額にあてたり、手に持ったりして儀礼に使用したと考えられています。



遮光器土偶に顔が似ています



◎遮光器土偶(部分)
(特別展「縄文」で展示)



ズームイン!

鼻の下には溝(人中)が。人間の顔をリアルに表現しています

親と子のギャラリー

なりきり日本美術館

本館 特別4室・特別5室 7月24日(火)～9月9日(日)

びじゅつ初心者や、びじゅつが大好きな方のために、トーハクとNHK Eテレの人気番組「びじゅチューン!」がコラボ。この夏限定で「なりきり日本美術館」がオープンします! この美術館では「なりきる」のがルール。絵の中のひとや作者になりきって、声を出したり、動いたりすると、あの有名な絵が動く!? びじゅつともしっかり仲よくなり「なりきり日本美術館」にどうぞお出かけください。

主催: 東京国立博物館、国立文化財機構文化財活用センター、NHK

たとえば麗子になりきってみて!

一度見たら忘れられない岸田劉生の「麗子微笑」。少女・麗子の独特な雰囲気目が釘付けになり、つい問いかけてくなります。「どうしてほほえんでいるの?」「何を見つめているの?」何度聞いても、絵の中の麗子は答えてはくれません。でもここは「なりきり美術館」。デジタル顔はめで麗子になりきって、麗子の代わりに答えてみましょう。「私は麗子。じつは私ね…」



びじゅチューン!
「夢パフォーマー麗子」
©NHK・井上涼 2018



オリジナル

◎麗子微笑 岸田劉生筆
大正10年(1921)
展示期間: ~9月9日(日)
本館18室

トーハクで、「ほんもの」に会おう!

本館18室、法隆寺宝物館で「びじゅチューン!」に登場した作品の一部を、本館1室・9室では関係する作品の一部を展示中。「ほんもの」に出会うチャンスです!

富嶽三十六景・神奈川沖浪裏 葛飾北斎筆
江戸時代・19世紀 展示期間: ~8月19日(日) 本館18室



Pick up!

本館

雲を巧みに用いて2場面を描く

重文 祖師図

(五祖送六祖渡江・徳山托鉢)

8月7日(火)～9月17日(月・祝)

3室 禅と水墨画



◎祖師図
(五祖送六祖渡江・徳山托鉢)

狩野元信筆 旧大仙院方丈障壁画
室町時代・16世紀
狩野派発展の基礎を築いた元信の代表作

祖師図は、もと大仙院方丈の障壁画で、大仙院は古嶽宗瓦によって永正10年(1513)、大徳寺内に開創された塔頭です。これは祖師図6幅のうち、五祖送六祖渡江と徳山托鉢の2場面を描いた1幅。画面下部には、六祖慧能(えいご)が五祖弘忍(こうにん)から仏法を継承した後、五祖自ら櫓をとって舟を操り、六祖が長江を渡る場面が描かれ、画面左上には、徳山宣鑑(くんでん)が鉢を持って食堂に来るのを弟子の雪峰(せつぽう)が問い詰める場面が描かれています。どちらも唐時代の禅僧の言動として著名なものです。狩野元信は、異なる時と場で起きた故事を、雲を用いて巧みに一つの空間にまとめ上げています。(救仁郷秀明)

本館

3人の絵師が描く、山水図

重美 山水図屏風

8月7日(火)～9月17日(月・祝)

7室 屏風と襖絵



(右隻)

◎山水図屏風

狩野探幽筆
江戸時代・17世紀
西脇健治氏寄贈
安土桃山～江戸初期にかけての山水図を見比べてみよう

て支えた人物でした。2人の山水図を比べてみると、広く余白をとり、水平方向への広がりを意識した興以の作風が、次世代の探幽へと繋がっていくのがわかります。ぜひこの機会に、安土桃山～江戸初期にかけての山水表現の流れをお楽しみください。(大橋美織)

この時期の7室では、山水画の魅力をご堪能いただけるよう、3人の画家による山水図屏風を展示しています。安土桃山時代を代表する画家代々友松、江戸時代初期の狩野派の画家狩野興以、そして江戸狩野派の基礎を作り、画壇の家康といわれた狩野探幽の作品です。特に興以は、探幽を後見役として

本館

新たな魅力を見出す数寄者の眼を感じる

東南アジア由来の茶湯道具

9月11日(火)～12月9日(日)

4室 茶の美術



◎紅安南唐草文茶碗

ベトナム 岡野繁蔵旧蔵 16世紀
日本で「紅安南」と呼び親しまれるベトナム製の赤絵茶碗です

今秋、東洋館で開催される「博物館でアジアの旅(↓4～5ページ)では、日本インドネシア国交樹立60周年を記念して、インドネシアにまつわる彫刻・考古・陶磁・染織・民俗資料など、魅惑的な作品群が展覧されます。これにあわせて、本館4室「茶の美術」では、おもに東南アジアからもたらされ、日本で茶器に転用された珍しい道具を紹介いたします。日本独特の文化といわれる茶の湯。季節や目的に応じて、日本に限らず、中国、朝鮮半島、東南アジア、さらに遠くヨーロッパというように、異なる地域でつくられたさまざまな道具を使用

器肌で、絵付けもざっくりとおおらかです。その素朴な風合いが茶人を惹きつけ、「宋胡録」、「安南」と呼ばれて人気を集めました。数寄者の眼にかなえば、どんな道具でも新たな魅力がそなわるもの。陶磁や金工、漆工など、海を越えてやってきた個性豊かな作品たちをぜひご堪能ください。(三笠立景子)



◎蒔絵茶箱

タイ 16～17世紀
蒔絵はタイやミャンマーに特徴的な漆器です。これは茶箱として使用されました

います。それは、茶席を設ける亭主にとって「取り合わせ」の技の見せどころであり、とても魅力的な仕事でもあります。16世紀後半から17世紀にかけて、日本の有力な戦国大名たちが東南アジアと積極的に交易を行いました。そのなかでタイやベトナムのやきものもたらされ、茶湯道具にとりあげられます。それらは、土味を残した温かみのある器肌で、絵付けもざっくりとおおらかです。その素朴な風合いが茶人を惹きつけ、「宋胡録」、「安南」と呼ばれて人気を集めました。

総合文化展  **Pick up!**

東洋館

幻の世界宗教を描いた
初出陳絵画も！

「宗教絵画の広がり」

7月31日(火)～8月26日(日)

8室 中国の絵画

中国では多くの宗教が信仰され、その普及のためにさまざまな様式の絵画が作られてきました。本展で特に注目したいのは、マニ教の世界を描いた作品です。3世紀、ササン朝ペルシャに生まれたマニが創始したマニ教は、ローマから中国まで広く信徒を増やしますが、やがて各地で迫害を受け、衰退してしまいます。マニ教徒は布教に絵画を用いていたようですが、現存例は多くありません。このたび、14世紀頃の中国で作られた遺品を初出陳することができました。道教、仏教からマニ教まで、多彩な宗教絵画の歴史をお楽しみください。
(植松瑞希)



マニ説話画

中国
元～明時代・
14世紀 個人蔵
マニが各地で説法をする様子が、愛らしい筆致で描かれています

東洋館

トーハクを代表する
中国書画の名品がずらり

特集 「中国書画精華」
「名品の魅力」

8月28日(火)～10月21日(日)

8室 中国の絵画・書跡



(部分)

● 出山釈迦図軸 梁楷筆

中国 南宋時代・13世紀
お釈迦様が悟りを開く直前の壮絶なこの姿は、禪宗で好まれる画題となりました



今年も、秋の中国美術の名品展として「中国書画精華」を開催します。日本に舶載された中国の書画は、わが国独自の感性に基づいて鑑賞され、日本人の創作の源となってきました。鎌倉・室町時代には、禪宗と共に宋・元時代の書画が数多く伝わり、書院や茶室で愛されました。江戸時代の画家たちも、明・清時代の絵画を積極的に学んでいます。明治時代以降は、より多様な中国書画が流入し、財界人によって優れたコレクションが形成されました。日本人を魅了した中国書画の名品の数々をご紹介します。
(富田淳)

東洋館

「アジアの旅」にあわせて、
とっておきを特別公開！

漆耳杯

9月4日(火)～10月14日(日)

10室 朝鮮の磨製石器と金属器

現在の北朝鮮のピョンヤンには、中国の漢王朝が紀元前108年に設置した楽浪郡を通じて、中国の漆器文化が入ってきました。この耳杯もその一例です。内底には朱漆で「元馬陝紵牢」と書かれています。「陝紵」とは、麻布に漆を塗って形を作る「夾紵」を意味すると思われまます。また、「牢」はこの器が「堅牢」、すなわち丈夫であることを表していると考えられます。おそらくこの器は、楽浪の高い位の役人の墓に納められていたものでしょう。(白井克也)



漆耳杯

「元馬陝紵牢」銘 伝楽浪古墳出土
楽浪・前1～後3世紀
小倉コレクション保存会寄贈
両側に耳のように把手(とつ)がついています



(内底部分)

黒田記念館

心象風景のような画面の広がり

案山子

11月25日(日)

黒田記念室



案山子

黒田清輝筆 大正9年(1920)
日記には「雲ノ模様」に興味を感じながら描いたとあり、自然のうつろいに敏感な黒田ならではの1点です

曇り空の下、畑の真ん中に1体の案山子の立つ情景が、素早い筆運びで描かれています。裏面には「大正九年九月二十六日」とあり、その日の黒田清輝の日記にも本作品のことが記されています。それによると、案山子の絵の制作を思い立った黒田が、写生用にながわざ案山子を畑に立たせて描いた、とのこと。黒田としてはもっと本格的な大作に仕上げたかったようですが、洋画壇の大神所として多忙を極める中、結局そのもくろみは果たせず、「臨時のスケッチ」(日記より)として描かれた本作品が唯一の作例となりました。
(東京文化財研究所・塩谷純)

総合文化展 **Pick up!**



黄河渡場 早崎稷吉撮影
明治36年・光緒29年(1903)
前期展示
山高帽にマント姿の男性のシルエットが旅情を誘います

*展示は前期(9月30日(日))と後期(10月2日(火))の2期に分かれます。

本展では、清朝末期から中華民国の初めに早崎稷吉、塚本靖、関野貞によって撮影された写真に焦点をあて、彼らの足跡をたどりながら、当時の中国の風景をお楽しみいただきます。(関紀子)

文献史料でしか知りえなかった憧れの地が、写真によって目の前に現れた時、人々の衝撃は大きなものだったでしょう。19世紀末の中国に渡り、各地を踏査して写真に収めた日本人は少なくありません。それらの写真は現在の我々に、写真でしか知りえない100年前の姿として、新鮮な感動を与えてくれます。

企画展示室
9月4日(火)～10月28日(日)

特集 「中国写真紀行」
日本人が撮った100年前の風景

写真で蘇る、憧れの地

平成館

この平瓶には、線刻で3種類の絵画が描かれています。一つ目は馬に乗る人物で、その人物は頭を飾っています。二つ目は、杖状の屋根飾りがある建物です。三つ目は、高い柱に掲げられた、吹き流し状の旗です。これらの絵画が示す意味は謎に包まれています。一説によると旗を掲げた祭殿の周囲で、司祭者が馬上で祭祀を執行している様子ではないかと考えられています。古墳時代の特別な場面を描いた絵画須恵器は稀であり、大変貴重です。(河野正訓)



(部分)



平瓶
古墳時代・6～7世紀
岡山県新見市唐松出土
吹き流し状の旗。旗を掲げることで、建物が聖域であることを示しています

考古展示室
11月25日(日)

平瓶

極めて稀な絵画須恵器の頂点!

平成館



◎唐花文夾纈羅円褥
奈良時代・8世紀
華やかな天平文化を伝える法隆寺染織の名品です

この作品には、羅という透けた織物に、夾纈という技法で花の文様が赤く染められています。夾纈とは、版木の間に織物を挟んでから染液に浸ける技法で、奈良時代には盛んに行われました。なお、一対で伝わっていることから、「講師」と「読師」が互いに相対して論議台に上り、仏教の教義について論ずる儀式などで用いられたのかもされません。(三田覚之)

褥とは敷物のことです。一般的な褥は長方形ですが、これは円形という珍しい形。展示では見えませんが、裏面に「経臺褥」との墨書があり、お経を載せたものとわかります。この作品には、羅という透けた織物に、夾纈という技法で花の文様が赤く染められています。夾纈とは、版木の間に織物を挟んでから染液に浸ける技法で、奈良時代には盛んに行われました。なお、一対で伝わっていることから、「講師」と「読師」が互いに相対して論議台に上り、仏教の教義について論ずる儀式などで用いられたのかもされません。(三田覚之)

第6室
9月4日(火)～9月30日(日)

重文 唐花文夾纈羅円褥

正倉院にも例をみない円形の褥

法隆寺宝物館

1000年後の未来に バトンタッチ!

保存と修理情報 48

誰も飲まない特別な水!?

汚れを浮かせて取るクリーニングや、接着剤をゆるませて部材を解体する作業、また膠や小麦粉デンプン糊などの接着剤を作製する時など、修理作業では様々な場面で水を使用します。通常私たちが飲んでる水道水は、ミネラル分や殺菌成分が含まれることから、乾燥すると白く石灰分などが残るため、繊細な文化財への修理作業には適していません。

当館では、科学実験などでも使用される特殊な装置によって、水道水をさらに滅菌し、不純物をろ過した純水を作り、修理作業や収蔵空間の加湿へ使用しています。ただし、ミネラル分もほとんどない純水は、おいしくなく、誰も飲まない修理作業用の水です。(野中昭美)



純水を作る、ろ過装置

9月 展示案内

- 1-1: 日本美術のあけぼの—縄文・弥生・古墳
- 1-2: 仏教の興隆—飛鳥・奈良
- 2: 国宝室
- 3-1: 仏教の美術—平安～室町
- 3-2: 宮廷の美術—平安～室町
- 3-3: 禅と水墨画—鎌倉～室町
- 4: 茶の美術
- 5-6: 武士の装い—平安～江戸
- 7: 屏風と襖絵—安土桃山・江戸
- 8-1: 暮らしの調度—安土桃山・江戸
- 8-2: 書画の展開—安土桃山・江戸
- 9: 能と歌舞伎
- 10: 浮世絵と衣装—江戸
- 11: 彫刻
- 12: 漆工
- 13-1: 金工
- 13-2: 刀剣
- 13-3: 陶磁
- 14: 特集
- 15: 歴史の記録
- 16: アイヌと琉球
- (17: 保存と修理)
- 18: 近代の美術

8/7(火)-9/17(月)・祝

3-2

鼠草紙 江戸時代・18世紀

清水寺で出会った鼠と姫君のカップル。その恋のゆくえはいかに？



(部分)



(部分)

9/19(水)-10/28(日)

◎為家本時代不同歌合絵 鎌倉時代・14世紀

時代を超えて、新旧歌人の和歌と肖像が一堂に会する白描の歌仙絵

8/7(火)-9/17(月)・祝

3-3

◎祖師図(五祖送六祖渡江・徳山托鉢)

狩野元信筆
旧大仙院方丈壁画
室町時代・16世紀
→7ページ



(部分)

9/19(水)-10/28(日)

◎文殊菩薩像

雲彩筆 龍岡真主賛 室町時代・15世紀
特徴的な衣文線にご注目!
ところどころに金泥線も使っています

本館 2F: 1~10

1-1

-12/9(日)

◎埴輪 轡を担ぐ男子

群馬県伊勢崎市
下触出土
古墳時代・6世紀



◎火焰型土器

伝新潟県長岡市馬高出土
縄文時代(中期)・前3000~前2000年
機能的な要求を超えた過度な造形と
装飾が火焰型土器の魅力です

-9/17(月)・祝

◎菩薩立像 飛鳥時代・7世紀



体を極端に薄く表す。左右にひろがる衣とともに、大陸の金銅仏を模したと考えられます

9/19(水)-10/28(日)

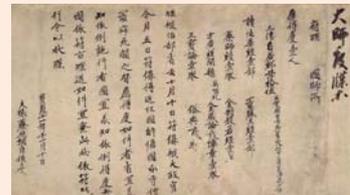
◎藍紙金光明最勝王経断簡

伝聖武天皇筆
奈良時代・8世紀



1-2

2



(部分)

8/7(火)-9/2(日)

◎伝教大師縁案 並 借網牒 平安時代・9世紀
京都・来迎院蔵



(第五尊者部分)

9/4(水)-9/30(日)

◎十六羅漢像 (第一尊者)、(第五尊者)

平安時代・11世紀
様々な姿に描かれる十六羅漢。本図の第五尊者は、玄奘三蔵をモデルにしているといわれています

8/7(火)-9/17(月)・祝

7

◎山水図屏風

狩野探幽筆 江戸時代・17世紀 西脇健治氏寄贈 →7ページ



(右隻)

9/19(水)-10/28(日)

◎秋草図屏風

俵屋宗雪筆
江戸時代・17世紀
俵屋宗達の後継者・宗雪が描く、華やかに咲き乱れる秋の草花



(部分)

-10/14(日)

◎志野秋図平鉢 美濃

安土桃山~江戸時代・16~17世紀

8-1



◎楓蒔絵文庫

原羊遊斎作 江戸時代・19世紀
原羊遊斎は江戸時代後期を代表する蒔絵師で、当時大変人気がありました



9/11(火)-12/9(日)

-9/9(日)

◎紅安南唐草文茶碗

ベトナム 16世紀
岡野繁蔵旧蔵
→7ページ



◎青磁彫形花入

中国・南宋官窯 尾張徳川家伝来
南宋時代・12~13世紀
広田松繁氏寄贈



尾張徳川家に伝来したもの。青磁釉に黒く走る貫入(ひび)に目を奪われます

4

5-6

-9/30(日)

◎紺糸威南蛮胴具足

安土桃山時代・16世紀
徳川家康の四天王の一人、榊原康政が家康から拝領した具足です



-10/8(月)・祝

◎三鱗紋兵庫鎖太刀 鎌倉時代・13世紀

静岡・三嶋大社に長く伝えられた太刀で、刀身と豪華で力強い刀装も展示します



8/7(火)-9/17(月)・祝

◎地蔵菩薩像

南北朝時代・14世紀

地獄からの救済者として信仰された地蔵菩薩。雲に乗るのは浄土から来迎した姿か？



3-1

9/19(水)-10/28(日)

◎兜率天曼荼羅圖

南北朝時代・貞和4年(1348)頃
弥勒菩薩の浄土を描いた図。もと広島県福山市・明王院五重塔仏後壁の壁画



8月 本館展

-9/17(月)・祝 **13-2**

●**太刀 長船長光** 鎌倉時代・13世紀

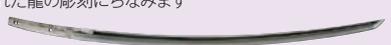


9/19(水)-11/25(日)

●**太刀 長船景光(号 小龍景光)**

鎌倉時代・元亨2年(1322)

鎌倉時代の名工、長船景光の代表作で、号の由来は刀身に施された龍の彫刻にちなみます



-9/30(日) **13-3**

●**黄釉沙金袋水指**

高取 江戸時代・17世紀



●**色絵山水文大鉢**

伊万里 江戸時代・17世紀
横河民輔氏寄贈

伊万里焼、初期の色絵の優品。濃厚な色調と大胆な絵付けが魅力です



-9/30(日) **14**

●**蝦蟇仙人像** 高橋宝山作
江戸時代・19世紀

●**龍頭観音像**

佐藤朝山作
昭和時代・20世紀
山田徳蔵氏寄贈

仏像を手がけた仏師と、明治以降に活躍した彫刻家。そのつながりをご覧ください



(千住部分) **15**

-9/2(日)

●**甲州道中分間延絵図**

江戸時代・文化3年(1806)



9/4(火)-10/28(日)

●**日光道中分間延絵図**

江戸時代・文化3年(1806)

江戸幕府が作成した絵図で、日光道の千住から越谷までを描いたもの (内藤新宿部分)



8/7(火)-10/28(日) **16**

●**鹿笛** 北海道アイヌ 19世紀 ウィーン万国博覧会事務局引継

鳴き声を真似ておびき寄せ、毒矢の一撃。鹿を仕留めます



●**機篋**

北海道アイヌ 19世紀



9/11(火)-10/28(日) **18**

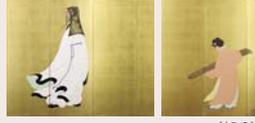
●**竹取物語** 前田青邨筆
明治44年(1911)



●**五柳先生**

横山大観筆 明治45年(1912)

お供の童子と中国の詩人・陶淵明が道行く、万感胸に迫る一瞬の光景



(部分)

-8/26(日) **10**

●**江戸三美人・富本豊隆、難波屋おきた、高しまおひさ**

喜多川歌麿筆 江戸時代・18世紀

団扇を手にした江戸の三美人。それぞれの美貌が描き分けられています



8/28(火)-9/24(月)・祝

●**東扇・五代目市川團十郎**

勝川春章筆 江戸時代・18世紀

扇に貼れる錦絵。似顔で描かれた工藤祐経を演じる名優五代目市川團十郎



-8/19(日) **10**

●**帷子 黒麻地流水紅葉模様**

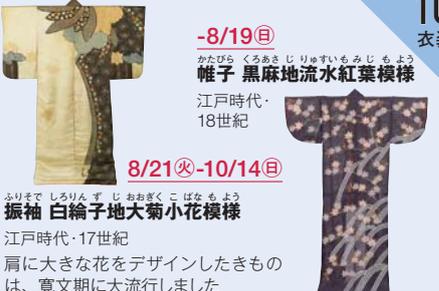
江戸時代・18世紀

8/21(火)-10/14(日)

●**振袖 白輪子地大菊小花模様**

江戸時代・17世紀

肩に大きな花をデザインしたきものは、寛文期に大流行しました



本館 1F: 11~16, 18

-10/21(日) **11**

●**毘沙門天立像**

平安時代・9世紀
和歌山・道成寺蔵

太い肩にどんぐりまなこ。武神にしては寛大そうな顔が魅力です



-2019/1/20(日)

●**菩薩立像**

鎌倉時代・13世紀



-9/30(日) **12**

●**獅子螺鈿鞍**

平安~鎌倉時代・12~13世紀
嘉納治五郎氏寄贈



●**御所車蒔絵硯箱**

江戸時代・17世紀

菊の咲き乱れる汀に停まる御所車。多種多様な蒔絵技術が駆使されています



-9/30(日) **13-1**

●**自在龍置物**

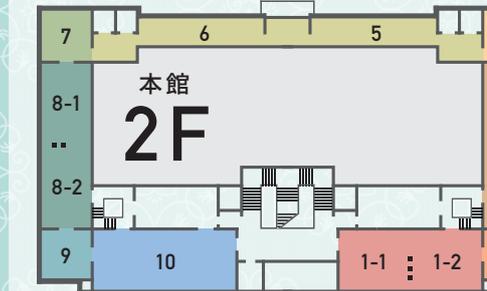
里見重義作
明治40年(1907)

リアルなだけでなく自由自在に動かせる銀製の龍です



●**金銅能作生塔**

鎌倉時代・13世紀
奈良・長福寺蔵

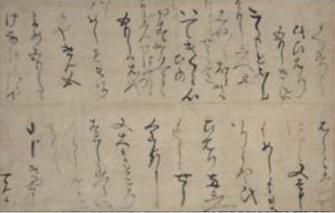
8-2

8/7(火)-9/17(月)・祝

●**書状**

豊田秀吉筆 安土桃山時代・天正14年(1586)

秀吉が正妻北政所に宛てた聚楽第の普請を知らせる書状



9/19(水)-10/28(日)

●**秋山遊猿図**

森狙仙筆 江戸時代・19世紀

圧倒的な毛並みの描写は、まさに猿描きの名手・狙仙の真骨頂



-8/19(日) **9**

●**厚板 紅白段鉄線唐草模様**

江戸時代・18世紀

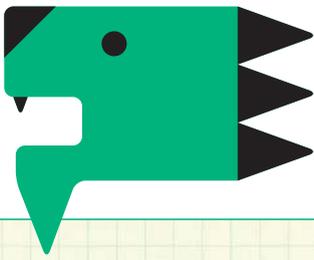
8/21(火)-10/14(日)

●**唐織 淡茶紅緑段菊地紙模様**

奈良・金春家伝来 江戸時代・18世紀

さまざまなモチーフを詰め込んだ模様が江戸時代後期の特徴





みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 教育センター

教育普及事業

PART 1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講演会・ギャラリートーク・ガイダンス

講演会

月例講演会「びじゅつがだんだん好きになってきた子どものための講演会」

*関連展示：本誌6ページ
日時：8月18日(土) 13:30~15:00
講師：小林牧(文化財活用センター 副センター長)
親子のギャラリー「なりきり日本美術館」でとりあげた作品についてお話しします。「びじゅチューン！」がきっかけで、美術が好きになってきた、小学校中学年から高学年向けの講演会です。大人もご参加いただけます。

月例講演会「世界無形文化遺産 パティックの世界を訪ねる」

*関連展示：本誌4~5ページ
日時：9月22日(土) 13:30~15:00 講師：小山弓弦葉(登録室長)
インドネシアが誇るジャワ島のロウケツ染「パティック」の技法の特色や文様の意味、「四角い布」からなる衣服の着用方法などについてお話しします。

*会場は平成館大講堂、定員380名、聴講無料(ただし当日の入館料が必要)
*開場は開始の30分前

ギャラリートーク

禅僧の物語を描く

◎祖師図(五祖送六祖渡江・徳山托鉢) 狩野元信筆
室町時代・16世紀
展示期間：8月7日(火)~
9月17日(月・祝) 本館3室



*関連展示：本誌7ページ
日時：8月10日(金) 18:30~19:00
本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
講師：救仁郷秀明(列品管理課長)
大徳寺の塔頭、大仙院の障壁画であった祖師図についてお話しします。

青森県つがる市亀ヶ岡遺跡の魅力

日時：8月28日(火) 14:00~14:30 平成館考古展示室
講師：品川欣也(考古室長)
日本で最も有名な遮光器土偶が出土した亀ヶ岡遺跡について、展示している大洞式土器を通してご紹介します。

PART 2

五感を使った美術体験

ワークショップ・ツアー

事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

ワークショップ

「パティックに挑戦」

*関連展示：本誌4~5ページ
インドネシアのロウケツ染、パティック。コットンのバンダナに、スタンプなどを使って、すてきな文様をつくり出してみませんか？

日時：9月29日(土) ①10:00~12:30 ②14:00~16:30
9月30日(日) ③10:00~12:30 ④14:00~16:30

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
対象：①③小学4年生~中学3年生とその保護者のペア ②④高校生以上
定員：①③10組20名 ②④20名(応募者多数の場合は抽選)
参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)
申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申込みください。

*1回の入力力で2名まで申込可。

申込締切：①②③④すべて9月12日(水) 必着



チャップ(スタンプ)や
チャンティンという道具
を使い、溶かしたロウ
で文様をつけます

*事前申込プログラムにお申込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。
実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先にお電話でお問合せください。TEL:03-3822-1111(代)
*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。
*インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。
*📍は「ヒアリンググループ」対応、🗺️は「UDトーク」対応のイベントです。

事前申込制 [往復はがき]

連続講座 日本の仏教美術

6世紀前半に仏教が日本に伝来して以降、日本は長きにわたって朝鮮半島や中国大陸を経由して、さまざまな仏教文化を受容し、展開してきました。今年の連続講座では、絵画、彫刻、工芸品などを通して、日本がどのようにして仏教文化を展開させてきたのかを振り返ります。

◆10月26日(金)

第1講 13:30~14:30 「日本の仏教文化における絵画」
講師：沖松健次郎(絵画・彫刻室長)
第2講 14:45~15:45 「仏教彫刻 運慶と運慶次世代の仏師たち」
講師：皿井舞(絵画・彫刻室主任研究員)
第3講 16:00~17:00 「禅宗の絵画」
講師：救仁郷秀明(列品管理課長)

◆10月27日(土)

第4講 13:30~14:30 「仏教美術の幕開け—聖徳太子とその美術—」
講師：三田覚之(工芸室研究員)
第5講 14:45~15:45 「伎楽面と仮面芸能の魅力—法隆寺献納宝物を中心に—」
講師：西木政統(貸与特別観覧室研究員)
第6講 16:00~17:00 「仏教工芸—荘厳への意識—」
講師：伊藤信二(博物館教育課長)

会場：平成館大講堂 定員：380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
聴講無料(ただし、初日の入館料が必要。2日目は初日にお渡しする受講券でご入館いただけます。なお、受講券で特別展の観覧はできません。)
申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に①参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな、②代表者の郵便番号・住所・電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。
*1枚のはがきで、最大2名まで申込可。
申込締切：9月18日(火) 必着
申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館 教育講座室「連続講座」係
お問合せ：03-3822-1111(代) 教育講座室

事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

ファミリーワークショップ

「からだ動くエビを作ってみよう」

からだ本物のように動く金属の置物「自在置物」は、とても高い技術がなければ作れません。どうやって作ったのかを探る人気プログラムです。力を合わせ、家族でひとつ、エビの自在置物を作ってみましょう！

日時：8月25日(土) 13:00~17:00
会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
対象：小学生およびその保護者

定員：10組(応募者多数の場合は抽選)
参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)
申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申込みください。
申込締切：8月8日(水) 必着
お問合せ：TEL 03-3822-1111(代) 教育普及室



こまかい作業に四苦八苦...



PART
3

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

アートスタジオ

子どもの勾玉作り・ファミリーで勾玉作り

平成館考古展示室にある勾玉を見学した後、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。

①子どもの勾玉作り 日時：10月7日(日) 13:30~15:30

②ファミリーで勾玉作り 日時：11月4日(日) 13:30~15:30

会場：本館地下 みどりのライオン（教育普及スペース）

対象：①小学3年生~中学生（保護者の見学可）

②小学3年生~中学生とその保護者

定員：①20名程度（応募者多数の場合は抽選）

②7組程度（応募者多数の場合は抽選）

参加費：無料（ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要）

申込方法：当館ウェブサイトのフォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「返信用裏面」に(1)参加者全員(①は2名まで、②は5名まで)の氏名・ふりがな、学年、(2)参加者の郵便番号・住所(①は参加者全員、②は代表者)、(3)代表者の電話番号、(4)①は見学希望の保護者の人数を、また「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

申込締切：①9月10日(月) 必着 ②10月9日(火) 必着

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 ボランティア室

①「10月7日勾玉作り」係

②「11月4日ファミリーで勾玉作り」係

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代)

ボランティア室



博物館でお花見を「花見で一句」入選作品発表

「博物館でお花見を」(2018年3月13日~4月8日)の関連企画「東博句会「花見で一句」にて、俳句を募集しましたところ、一般の部641句、小学生以下の部86句のご応募をいただきました。ご授句いただきました皆様、ありがとうございます。

- | | |
|---|---|
| <p>一般の部</p> <p>館長賞 来たき桜の上野かな 彩楓</p> <p>副館長賞 母連れて 咲いた櫻は 缶バッチ 泰啓</p> <p>桜賞 子らの手に 咲いた櫻は 缶バッチ 岡田眞理子</p> <p>時空こえ 「花下遊楽図」の 人となる 松川繁雄</p> <p>手をつなぐ 幼き子らに 舞う桜 吉岡真織</p> <p>屏風絵に 古人と桜 愛でる朝 長島公子</p> <p>君に似る 埴輪も笑う 花の宴</p> | <p>小学生以下の部</p> <p>館長賞 庭の桜と びょうぶの絵 タケノコ</p> <p>副館長賞 重なりし 茶わんの中で さくらちる 今井莉子 (敬称略)</p> |
|---|---|



トーハクくん の な る ほ ー ト ー ハク



親子のギャラリーってなんだほ？



ただいま、親子のギャラリー「トーハク×びじゅチューン! なりきり日本美術館」(→6ページ)を開催中。今回は「親子のギャラリー」について、トーハクくんが子どもたちを代表して博物館教育課にお話を聞きました。

Q1 「親子のギャラリー」ってなんだほ？

子どもから大人まで、みなさんに作品を楽しんでもらうための新しい切り口を提案する体験型展示です。春と夏の年2回開催しています。



「作品を楽しむ新しい切り口」ってなんだほ？



たとえば、2016年に開催した「美術のうら側探検隊」では、作品の「うら側」を見せて、作品の秘密を探したわね。



そうだったほ、見えないところに、作品を深く知るヒントが隠されているって展示だったほ。



そうね。普段見えている部分だけが全てじゃないという新しい見方ができたわ。



ペンライトで光をあてて、はにわの内側も見たんぼ。



大人だけでも、子どもといっしょでも、気軽に楽しめる体験型のしかけがたくさんあるわね。



2016年の展示。「おもて」「うら」どちらから見ても美人の浮世絵です

Q2 ふつうの展示とは何が違うんだほ？

わかりやすい解説が、一番の特徴です。文章の解説だけではなく、ざわれるハンズ・オン展示や、複製(レプリカ)と映像のインスタレーションなど、直感的に楽しめる工夫がたくさんあります。



どんな工夫があったほ？



昨年の「びょうぶとあそぶ」では、松林図屏風の世界が映像をととして体験できたわね。



美しい松林が目前で見たほ。



ほかにも、今年春の「サル」のひろば」ではサルの映像を展示室で流して、本物のサルと作品に描かれたサルをみくらべることができました。



2017年の展示。大型スクリーンの映像と、複製の「松林図屏風」。まるで松林にいるみたい!

Q3 親子のギャラリーはなんのためにやっているんだほ？

視点を変えて作品を見るおもしろさを伝えることで、さらに博物館を楽しんでもらいたいと思っています。また、親子のギャラリーでの発見を、別の作品を鑑賞するときに役立てていただけたらうれしいです。



自由な発想で作品を楽しむと、美術とさらに仲良くなれるほ!



「自分がこの人だったらどんな気持ちかな?」って想像しながら絵を見ると、新しい発見があるかもしれないわね。

東京国立博物館 秋のコンサート ～完璧なテクニックと豊かな音楽性のピアニスト～

日時：9月15日(土) 開演15:00 (開場14:30)
会場：平成館ラウンジ
出演：ゴラン・フィリベツ (ピアノ)
金井 隆子 (ソプラノ) / 栗根 祐人 (ピアノ)
曲目：愛の夢 (リスト) ほか *曲目が変更になる場合があります。
料金：5,000円 友の会・賛助会割引4,500円 (全席自由)
*当日は、コンサートチケットで総合文化展をご覧いただけます。
主催：東京国立博物館 サロン・ド・ソネット

〈チケットのお求め方法〉

- 当館正門チケット売場 (窓口、開館日のみ)
- ローソンチケット (一般販売のみ) Lコード：34971
電話 0570-000-407 (10:00～20:00オペレーター対応)
0570-084-003 (24時間自動音声・要Lコード)

ウェブ <http://l-tike.com/>

直接購入 ローソン・ミニストップ店頭「Loppi」

お問合せ：TEL 03-3822-1111 (代) 総務課イベント担当

*詳細は当館ウェブサイトをご確認ください。

8月5日(日)は、トーハクキッズデー!!

夏休みの自由研究にも、トーハクデビューにもぴったり。ワークショップやミニコンサートなど、たくさんのイベントでとっておきの思い出づくりをしましょう。
対象：0歳～中学生とその保護者(小・中学生だけの参加可)
入館料：一般620円/大学生410円
*高校生以下は無料、特別展は高校生以上は別途料金が必要
*子どもと一緒に来館された方は100円割引
当日のイベントの詳細は当館ウェブサイトをご確認ください。

東京国立博物館賛助会のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実に、幅広くご支援をいただいております。

◎年会費

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効

- 〈団体〉プレミアム会員 1000万円以上
特別会員 100万円/維持会員 20万円
- 〈個人〉プレミアム会員 100万円以上
特別会員 20万円/維持会員 5万円

◎主な特典

特別展内覧会への招待 など

◎申込方法

当館窓口、当館ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込
お問合せ 電話 03-3822-1111 (代) 総務課賛助会担当

東京国立博物館賛助会員 2018年6月24日現在

特別会員

- 日本電設工業株式会社 様
- 株式会社 コア 様
- 大日本印刷株式会社 様
- 株式会社 毎日新聞社 様
- 株式会社 大林組 様
- 朝日新聞社 様
- 株式会社 ホールオーケラエンタープライズ 様
- 株式会社 ミロク情報サービス 様
- 読売新聞東京本社 様
- 三菱商事株式会社 様
- 凸版印刷株式会社 様
- 公益財団法人 東芝国際交流財団 様
- 日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社 様
- 日本ロレックス株式会社 様
- サロン・ド・ソネット 様
- TABIZURU FOUNDATION 様
- 株式会社 みずほ銀行 様
- 一般財団法人 東京国立博物館協会 様
- 株式会社 東京書芸館 様

維持会員 団体

- 株式会社 三冷社 様
- 株式会社 東京美術 様
- 株式会社 鶴屋吉信 様
- 日本通運株式会社 美術品事業部 様
- 株式会社 安井建築設計事務所 様
- 株式会社 ナガホリ 様
- 松本建設株式会社 様
- 株式会社 古美術数本 様
- 謙慎書道会 様
- 近代書道研究所 様
- 日本畜産興業株式会社 様
- インフォコム株式会社 様
- 学校法人 大勝院学園 様
- 有限会社 システム設計 様
- 株式会社 インターネットインシアティブ 様
- 株式会社 小西美術工芸社 様
- 有限会社 ギャラリー竹柳堂 様
- 株式会社 育伸社 様
- 株式会社 モリサワ 様
- アミ開発有限会社 名古屋支店 様
- 光村図書出版株式会社 様
- 株式会社 デュナミス 様
- 株式会社 グラスハウバーンジャパン 様
- 株式会社 デュナミス 様
- キョコマン株式会社 様
- 公益社団法人 創玄書道会 様

- 朝陽書道会 様
- 一般社団法人 書芸文化院 様
- 株式会社 精養軒 様
- 株式会社 都市環境企画 様
- 日本空輪株式会社 様
- 株式会社 清光社 様
- 一般社団法人 学士会 様
- 公益財団法人 書道芸術院 様
- アズビル株式会社 様
- セコム株式会社 様
- 株式会社 ニッセイコム 様
- 金剛株式会社 様
- 株式会社 ロイスタール 様
- 株式会社 岡村製作所 様
- 株式会社 GICジャパン 様
- 公益財団法人 アダチ伝統木版技術保存財団 様
- エクスロンインターナショナル株式会社 様
- 正華会 様
- はごろもアース株式会社 様
- 有限会社 くんかんパニー 様
- 株式会社 目の眼 様
- 株式会社 前田酒店 様
- 株式会社 サザンプランニング 様

個人

- | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|--|--|---|--|--|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> プレミアム会員 岩間良孝様 井茂圭樹様 高木千鶴子様 特別会員 永久幸範様 辻泰二様 谷川紀彦様 佐久間基晴様 井田悦郎様 大山孝良様 田中三伊様 田中御津子様 増山育男様 維持会員 伊藤匠彦様 数内匡人様 服部悦子様 岩沢重美様 高田朝子様 齋藤京子様 齋藤宗治様 和田喜美子様 藤原紀男様 中川俊光様 関谷徳衛様 高橋守様 小澤桂一様 | <ul style="list-style-type: none"> 上久保のり子様 柳田良豊様 長谷川英樹様 池田孝一様 木村剛様 観世あすか様 星望由尚様 渡辺章様 稲垣哲行様 飯岡雄一様 高瀬正樹様 寺浦信之様 高木美華子様 吉原知良様 古屋光夫様 根田穂美子様 池嶋洋次様 是常博様 上野孝一様 山田泰子様 柴田隆子様 網村古代様 白井生三様 津久井秀郎様 杉田純一様 神通豊様 神通豊一様 石川公子様 | <ul style="list-style-type: none"> 永田実香様 西岡康宏様 友景紀子様 東野治之様 竹下佳宏様 野澤智子様 池谷正夫様 木谷嗣巳郎様 渡久地ツル子様 汐崎浩正様 飯岡敬子様 平井千恵子様 青山道夫様 高橋静雄様 小西時也様 田中望様 三井速雄様 坂崎貴司様 田川晴紀様 松本雅彦様 篠田喜弘様 片山正紀様 伊藤善雄様 津久井秀郎様 細川要子様 錦織伸一様 鈴木幸一様 秋元文子様 | <ul style="list-style-type: none"> 土師 昭三様 鏡賢志様 野口圭也様 渡邊雪絵様 佐藤 禎一様 中田 榮二様 山口 隆司様 渡辺 幸一様 相良 多恵子様 鈴木 徹様 今里 美幸様 加藤 孝明様 伊佐 健二様 吉原 仁吉様 木越 純様 北 保様 田中 信様 古川 晴紀様 新聞 日出夫様 若本 光雄様 山本 隆幸様 山上 知子様 名取 幸二様 増淵 義義様 要 英範様 安田 裕様 筑紫 みずえ様 | <ul style="list-style-type: none"> 鳥山 玲様 栗山 哲夫様 法橋 建様 根本 亨様 岡田 良雄様 師田 久子様 井茂 圭河様 高味 良信様 廣田 穰様 杉山 恭規様 笹森 美子様 高橋 明子様 小塚 泰博様 星 弘道様 西木 義久様 田浦 久己様 山中 翠谷様 荒木 春様 関口 大志様 柳村 衛様 樺澤 剛志様 小日向 志乃様 松前 達郎様 佐藤 貴士様 横田 隆義様 新保 幸男様 中野 俊介様 | <ul style="list-style-type: none"> 井出 宗則様 土屋 和彦様 碓田 榮一様 加納 隼人様 林 和人様 清水 透石様 野本 陽代様 福田 倫子様 佐藤 美善様 青山 慶示様 樋口 順一様 吉 喜代子様 竹原 鈴子様 長崎 益三様 富山 仁美様 高山 真行様 渡辺 博美様 鈴木 深泉様 今村 正 様 供田 扶美様 福武 正廣様 竹内 和世様 岡野 一昭様 伊藤 彰信様 小林 浩和様 加藤 正毅様 蔵口 真理様 宮下 雅博様 | <ul style="list-style-type: none"> 西村 裕紀子様 北田 俊也様 高野 成子様 高橋 薫様 清田 志郎様 佐野 淑子様 菅野 良子様 中島 久治郎様 中丸 久様 神田 靖男様 森本 寛生様 石飛 博光様 清原 真里様 角田 保行様 三浦 基広様 金光 真佐一様 田辺 修一様 野野 明様 竹内 野史様 平田 恭之様 福武 伸之様 羽石 史生様 長瀬 正行様 前田 寿子様 笠原 浩様 高木 勉様 黒河 英俊様 廣瀬 敬章様 | <ul style="list-style-type: none"> 北田 俊也様 高見 康雄様 岩本 みち子様 堀川 佳津美様 瀧本 篤様 秋元 幸雄様 中山 安弘様 鈴木 健之様 木村 則子様 水田 沙子様 吉原 剛一様 重田 丈夫様 五嶋 滋之様 大貫 健司様 柴 啓介様 若佐 恵子様 山向 尚子様 田中 真知子様 高田 明典様 根岸 順様 小野 透様 竹中 洋介様 藤本 久子様 和田 文彦様 北山 卓様 荒井 淳子様 伊藤 翔司様 宮森 景子様 田原 高子様 | <ul style="list-style-type: none"> 大山 仁様 小田 周平様 田島 ヨシ江様 沼尻 昭様 小森 義記様 那須野 さや佳様 土志田 嘉様 本原 順子様 佐藤 はるみ様 田面 大介様 佐藤 昌昭様 三上 昌宏様 三浦 邦夫様 近藤 雅美様 柴田 啓一様 賀田 好文様 栗本 靖子様 大畑 泰郎様 石堂 裕二様 岩井 順一様 藤本 久子様 仲田 雅也様 青木 香織様 染谷 克人様 伊藤 翔司様 石井 誠一郎様 平井 智春様 | <ul style="list-style-type: none"> 田中 久仁恵様 大原 延喜様 飯浜 修様 野島 信明様 椎名 功様 小澤 真弓様 小松 愛実様 米山 真満様 酒井 淳様 堀内 洋志様 曾根 史恵様 中村 寿也様 黒田 賢一様 浪崎 充彦様 阿部 隆夫様 野野 俊秋様 大久保 一様 野村 和子様 榎原 陽子様 石井 利行様 古家 悠一郎様 安諸 茉莉子様 内田 一博様 梓澤 昂広様 山崎 益男様 井上 美幸様 | <ul style="list-style-type: none"> 林 大和様 山崎 悠啓様 和田 佳奈子様 荻野 美穂様 長谷部 理恵様 柴田 博志様 阿部 隆夫様 宮崎 文子様 麻生 正信様 古瀬 敬様 小川 悠介様 井上 靖代様 鈴木 絵美留様 高橋 康之様 小山 美知子様 夢賀 浩一様 藤谷 康男様 本澤 昌宏様 松浦 芳香様 森山 節子様 大西 史子様 菅原 史郎様 波瀾 洋子様 本澤 昌宏様 ほか171名、2社、順不同 |
|--|---|--|--|--|---|--|--|---|--|---|

柳瀬荘で「火炊き」一般公開

埼玉県所沢市にある柳瀬荘(重要文化財)では、茅葺屋根の保全のため、月に1回かまどの「火炊き(燻蒸)」を行うことになりました。「火炊き」は、かまどから煙を出して屋根裏を燻し、茅葺屋根の中に虫やカビを発生させないように事前に処置する、昔ながらの方法です。これまでも行われていましたが、今年5月からは、月に1回定期的に行うことになりました。「火炊き」は一般公開します。

「火炊き」公開日：毎月2木曜日
4月～9月は10:00～16:00
10月～3月は10:00～15:00

*柳瀬荘の通常公開日は毎週木曜日、見学無料
お問合せ：TEL 042-944-2009 (管理人：針生)
または 03-3822-1111 (代) 経理課契約担当



博物館で野外シネマ

毎年大好評のイベント、「博物館で野外シネマ」を今年も移動映画館キノ・イグルーとの共催で開催します。今年の上映作品は、現在新作『未来のミライ』が公開中の細田守監督のヒット作品、『サマーウォーズ』。当日は22:00まで開館時間を延長するので、映画鑑賞後も展示をお楽しみいただけます。また、バラエティに富んだキッチンカーも出店します。秋の夜長を、ぜひトーハクでお楽しみください。

日時：9月21日(金)・22日(土) 19:00～
上映作品：サマーウォーズ(2009) 細田守監督

会場：本館前(雨天時は中止)
料金：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

*事前申込不要、当日会場に集合
*当日は特別夜間開館のため22:00まで開館(入館は閉館の30分前まで)



©2009 SUMMERWARS FILM PARTNERS





今日もお寺の鐘がなる



滋賀県・三井寺の「三井の晩鐘」をつく

2年間の京都国立博物館勤務を終え、4月の人事異動でトーハクに戻ってまいりました。

京都近辺はいうまでもなくお寺がたくさんあります。仕事上のこともそうですが、休みの日にもあちこち訪ねました。私の第1の目当ては梵鐘。国宝や重要文化財のような古鐘にはテンションが上がります。また新しくても良いのです。鐘樓に下がっている姿に癒されます。

除夜には全国で名鐘がつかれますが、日常的につくことのできる梵鐘もあります。ある鐘の歴史をたずね、姿や形式を鑑賞し、つく。そんな野外ツアーやワークショップができないかなと夢想します。

(伊藤信二)

特別展チケットプレゼント

特別展「マルセル・デュシャンと日本美術」、特別展「京都 大報恩寺 快慶・定慶のみほとけ」(ともに10月2日(火)～12月9日(日)→2ページ) 無料観覧券(5組10名様)をプレゼントします。締切は10月10日(水)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース8-9月号」プレゼント係

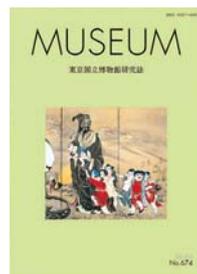


「MUSEUM」674号(2018年6月15日発行)の掲載論文

- ①「曾我蕭白筆「群仙図屏風」および「林和靖図屏風」の図像を巡る考察」ミウオシユ・ヴォズニ(当館国際交流室アソシエイトフェロー)
- ②「野村正治郎の初期の活動—刺繍貿易商から骨董商へ—」澤田和人(国立歴史民俗博物館准教授)
- ③《資料紹介》「長野県駒ヶ根市・宝積山光前寺所蔵「仏涅槃図」」藤元裕二(浅草寺教化部職員)

お問合せ：当館ミュージアムショップまたは中央公論事業出版(TEL:03-5244-5723)

定価：1,543円(税込)



TNM & TOPPANミュージアムシアター

VR作品『DOGU 美のはじまり』7月4日(水)～9月30日(日)

これまで我が国で発見された土偶は約2万点に上りますが、そのうち国宝に指定されているのはわずか5点に過ぎません。それら5体の国宝土偶が、本作で一室に集結。ナビゲーターの案内により、バーチャルリアリティ技術で美しく再現された土偶の姿をお楽しみいただけます。縄文人の精神性、造形力、そして美意識が遺憾なく表現された国宝土偶を通して、そこに込められた想いを感じてみてください。

料金：一般・大学生・高校生：500円、小学生・中学生：300円

*子どもウェルカムキャンペーン：7月4日(水)～9月30日(日)は小・中学生は鑑賞無料です。

- *未就学児、障がい者とその介護者1名は無料(1作品/1回あたり)
- *総合文化展とセット購入で一般：1,000円/大学生800円
- *所要時間は約35分です。鑑賞には当日の予約が必要です。
- *演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。
- *詳細はウェブサイト(<http://www.toppa-vr.jp/mt/>)をご覧ください。



東京国立博物館利用案内

開館時間：

9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

- 金・土曜日は21:00まで
- 4～9月までの日曜日、祝・休日は18:00まで
- 9月21日(金)・22日(土)は22:00まで
- 10月31日(水)、11月1日(木)は21:00まで
- いずれの場合も黒田記念館は17:00まで

休館日：

月曜日(祝・休日に当たる場合は開館、翌平日休館)
年末年始(12月26日(水)～2019年1月1日(火・祝))

- 8月13日(月)、12月25日(火)、2019年3月25日(月)は開館

*特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金：

一般＝620(520)円 大学生＝410(310)円

- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料
- 敬老の日(9月17日(月・祝))、トーハク感謝デー(12月23日(日・祝)～25日(火))は、総合文化展は観覧無料

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、Twitter、Instagram、メールマガジンで！

東京国立博物館ウェブサイト

<http://www.tnm.jp/>

東京国立博物館会員制度

東京国立博物館では、皆様のニーズに合わせて各種会員制度をご用意しております。

友の会

発行日から1年間有効
年会費 8,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を6枚配布、本誌の定期購読、ショップ、レストラン割引等様々な特典があります。

メンバーズプレミアムパス

発行日から1年間有効
年会費 一般5,000円、学生3,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を4枚配布します。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効
年会費 一般2,000円、学生1,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。

ニュース会員

東京国立博物館ニュースの定期購読
年会費 1,000円(6冊分)

【特典】年6回東京国立博物館ニュースをご自宅に送付いたします。メンバーズプレミアムパスとの同時申し込みで100円割引。

*次号よりご送付希望の場合、締切は9月10日(月)です。

〇申込方法

1. 会員専用窓口

当館正門前の会員専用窓口で即日発行いたします(現金またはクレジットカード)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申し込みください(クレジットカードまたは郵便振替(振替用紙を送付))。

3. 郵便振替

●振替用紙に①種別(友の会、プレミアムパス、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生)③氏名(ふりがな)、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号、⑦年齢、⑧性別、⑨メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)を通信欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名：東京国立博物館会員制度

口座番号：00140-3-791791

●振込用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。

●振替手数料はお客様負担となります。

●ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

*一度収められた料金の払い戻しはいたしません。

*各種イベントのお申込みに際してご提供いただいた個人情報、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

〇お問合せ

電話 03-3822-1111(代) 総務課会員制度担当

*月曜～金曜日の9:30～17:00(土日・祝休日は除く)

FAX 03-3821-9680

1水	特別展「縄文-1万年の美の鼓動」 親子のギャラリー「なりきり日本美術館」
2木	休 11:00
3金	夜間開館 (21:00まで) 法 15:00 トーハクBEER NIGHT! *1
4土	夜間開館 (21:00まで) 【なりきり】「びじゅチューン!ライブ in トーハク」11:30、14:30*4 本 14:00 トーハクBEER NIGHT! *1
5日	時間延長 (18:00まで) 【総合文化展】トーハクキッズデー *1 作 11:00、14:00 考 14:30
6月	休館日
7火	
8水	
9木	
10金	夜間開館 (21:00まで) G「禅僧の物語を描く」18:30 本館地下教育普及スペース 英 14:00
11土・祝	夜間開館 (21:00まで) 【なりきり】ファミリーワークショップ 「なりきり日本美術館★なりきりガイド」10:00、14:00*4 陶 14:30
12日	時間延長 (18:00まで) 海 14:00 影 15:00
13月	
14火	
15水	
16木	影 15:00
17金	夜間開館 (21:00まで)
18土	夜間開館 (21:00まで) 開「びじゅつがだんだん好きになってきた子どものための講演会」13:30 平成館大講堂 本 14:00 法 15:00
19日	時間延長 (18:00まで) 東 11:00 考 14:30
20月	休館日
21火	
22水	
23木	本 14:00
24金	夜間開館 (21:00まで)
25土	夜間開館 (21:00まで) W「からだが動くエビを作ってみよう」13:00 刀 13:30
26日	時間延長 (18:00まで) 英 11:00 影 15:00
27月	休館日
28火	G「青森県つがる市亀ヶ岡遺跡の魅力」14:00 平成館考古展示室
29水	
30木	
31金	夜間開館 (21:00まで)

1土	夜間開館 (21:00まで) 樹 11:00 本 14:00
2日	時間延長 (18:00まで) 作 13:30 考 14:30
3月	休館日
4火	開 11:00
5水	
6木	開 11:00
7金	夜間開館 (21:00まで) 法 15:00
8土	夜間開館 (21:00まで) 陶 14:30
9日	時間延長 (18:00まで) 海 14:00 考 14:30 影 15:00
10月	休館日
11火	スペシャルツアー「インドネシアと南海の民族文化を楽しむ旅」 14:00 東洋館1階エントランス集合
12水	「ジャワの影絵芝居ワヤン・クリ」 13:00、15:00 表慶館
13木	海 11:00
14金	夜間開館 (21:00まで) 開「ジャワの影絵芝居ワヤン・クリ」 11:00、13:00 表慶館 英 14:00
15土	夜間開館 (21:00まで) 開 11:00 本 14:00 法 15:00 ♪秋のコンサート 15:00 平成館ラウンジ *2
16日	時間延長 (18:00まで) 開 11:00 茶 11:00、13:00 考 14:30
17月・祝	時間延長 (18:00まで)
18火	休館日
19水	スペシャルツアー「インドネシアと南海の美術工芸を楽しむ旅」 14:00 東洋館1階エントランス集合
20木	開 11:00 影 15:00
21金	特別夜間開館 (22:00まで) 博物館で野外シネマ 19:00 本館前*3 樹 11:00
22土	特別夜間開館 (22:00まで) 開 開「世界無形文化遺産 パティックの世界を訪ねる」 13:30 平成館大講堂 博物館で野外シネマ 19:00 本館前*3 刀 13:30
23日・祝	時間延長 (18:00まで) 英 11:00 影 15:00
24月・休	時間延長 (18:00まで)
25火	休館日
26水	
27木	本 14:00
28金	夜間開館 (21:00まで) 開 開「気軽に椅子ヨガ in 東洋館」14:00、 14:30、15:00、15:30 東洋館1室
29土	夜間開館 (21:00まで) 開 W「パティックに挑戦」10:00、 14:00
30日	時間延長 (18:00まで) 開 W「パティックに挑戦」10:00、 14:00 考 14:30

【なりきり】=親子のギャラリー「なりきり日本美術館」関連事業(→6ページ)
 開=「博物館でアジアの旅」関連事業(→4-5ページ) *1=詳細は当館ウェブサイト
 海=有料イベント。詳細は14ページ *3=詳細は14ページ *4=事前申込制(*8月4日(土)のライブの申込みは締め切りました)
 法=ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合:法隆寺宝物館1階エントランス
 茶=ボランティアによる応挙館での茶会(*8月は休止します)、集合:本館1階エントランス
 (9:30から集合場所で整理券配布、参加費500円、各回先着15名)
 庭=ボランティアによる庭園茶室ツアー(*8月は休止します)、集合:本館1階エントランス
 (9:30から集合場所で整理券配布、先着18名)
 英=ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合:本館1階エントランス
 近=ボランティアによるたても散歩ツアー(*8月は休止します)、集合:本館1階エントランス
 海=ボランティアによる近代の美術ガイド(*8-9月は休止します)、集合:本館1階エントランス
 刀=ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合:本館1階エントランス
 東=ボランティアによる東洋館ツアー、集合:東洋館1階エントランス(8月は「仏像の旅」、9月
 は「東洋館ハイライト アジアの旅Ver.」をご案内します)
 藝=藝大大学院インターンによるギャラリートーク(*8-9月は休止します)
 ※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります

開=月例講演会等、詳細は本誌12ページ(特別展関連事業→2ページ)
 G=ギャラリートーク、詳細は12ページ
 W=ワークショップ、詳細は12ページ(特別展関連事業→2ページ)
 考=託児サービス実施日(12:30~15:30、8月5日のみ10:00~13:00、14:00~17:00)
 事前予約制 有料
 作=ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ 事前申込制(*8月5日は当日受付)
 詳細は前号12ページ
 本=ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合:本館1階エントランス
 海=ボランティアによる浮世絵ガイド、集合:本館1階エントランス
 陶=ボランティアによる陶磁ガイド、集合:本館1階エントランス
 影=ボランティアによる彫刻ガイド、集合:本館1階エントランス、9月9日は東洋館1階エントランス
 開=ボランティアによる樹木ツアー(*8月は休止します)、集合:本館1階エントランス
 考=ボランティアによる考古展示室ガイド、集合:平成館考古展示室入口、9月9日・30日は東洋館1階エントランス